



株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
(東証グロース 証券コード：4260)
2024年9月期（第1四半期）
決算説明資料

2024年2月14日

2024年9月期（第1四半期）の総括

売上収益

826百万円 **+19%** ↑
(前年同期比)

売上総利益

271百万円 **+6%** ↑
(前年同期比)

営業利益

89百万円 **+35%** ↑
(前年同期比)

- ・第1四半期時点の計画を上回って進捗（達成率は、売上収益104%、営業利益174%、当期利益335%）。
- ・ストックサービスの成長に加え、前期にM&Aを実施したハイブリッドテックエージェンツ社の売上収益を取り込み、売上収益が増加（前年同期比+19%）。
- ・開発体制強化を目的とした組織変更等により、営業利益は計画対比で大幅に進捗（前年同期比+35%）。

5p
2024年9月期（第1四半期）
の決算概要

- ・2023年10月以降、開発体制や品質管理体制の強化を目的とした組織変更により、販管費に計上されていた人件費の一部を売上原価に移行。
- ・この計上区分の変更によって、売上総利益率が低下（営業利益以下各段階利益には影響なし）。

12p
事業体制の変更の影響

- ・コロナ禍で中止していた、お客様のベトナム拠点視察が再開。
- ・開発拠点との交流を通じて、ベトナムの熱量や当社のサービス体制を伝え、受注拡大を図る。
- ・第1四半期に企画した視察ツアーでは、提案中の潜在顧客を含め累計10社以上が参加、一部受注に繋がる。

19p
ベトナム視察

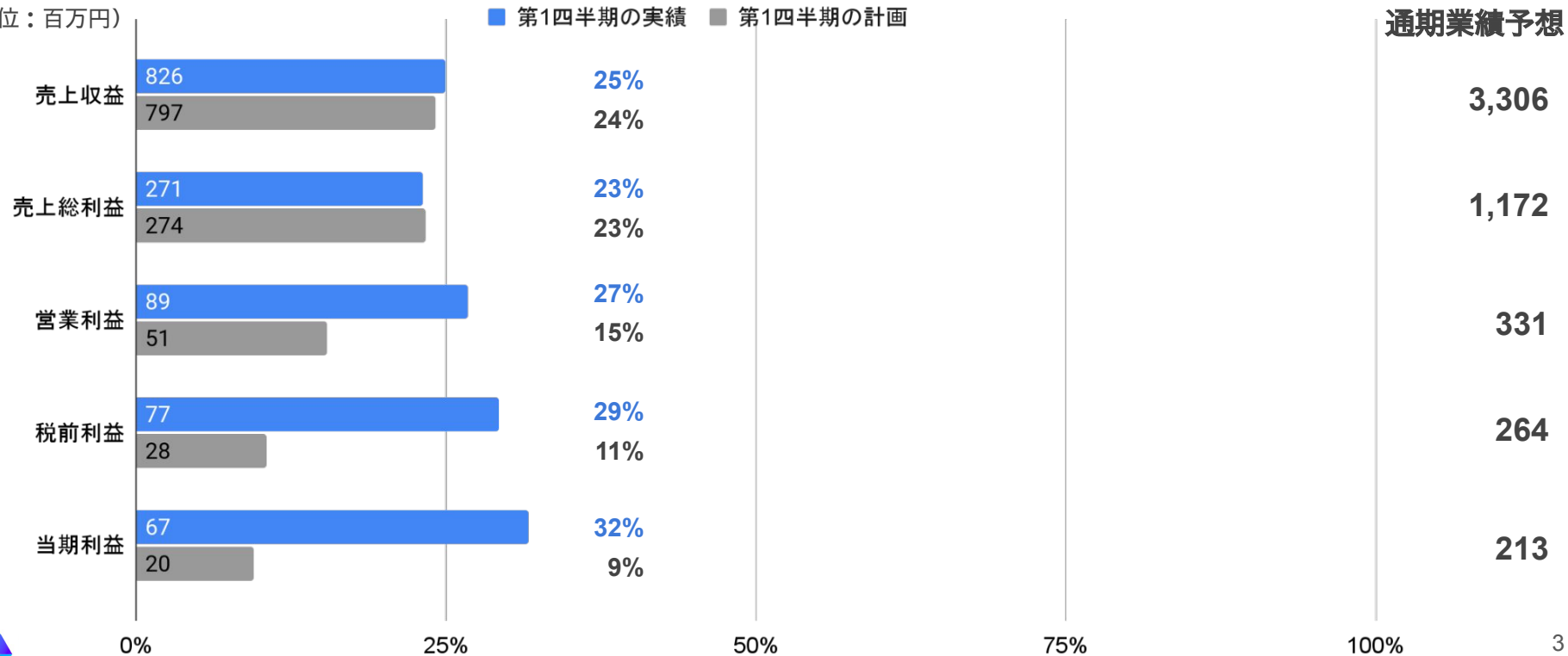


2024年9月期業績予想の達成状況

- ・売上収益は、主に既存ストックサービスが期初計画を上回る進捗で第1四半期計画**104%の達成率**。
- ・営業利益は、売上収益の増加、及び販管費の最適化等を反映し**89百万円**を計上、第1四半期計画**174%の達成率**、**通期業績予想の27%**まで進捗。
- ・当期利益は、為替差損の減少もあり、**67百万円**を計上、第1四半期計画**335%の達成率**、**通期業績予想の32%**まで進捗。

(単位：百万円)

■ 第1四半期の実績 ■ 第1四半期の計画



2024年9月期第1四半期の業績

第1四半期のトピックス

成長戦略

会社・事業の概要



- ・売上収益は第1四半期計画を超え**826百万円**（前年同期比+19%、達成率104%）。
- ・ストックサービス件数の増加、前期に買収したハイブリッドテックエージェント社の売上取り込みにより、ストックサービス収益が前年同期比で**+174百万円**（+29%）増加。
- ・当期首から実施している開発体制や品質管理体制の強化を目的とした事業体制の変更に伴い、前期まで販管費に計上されていた人件費の一部を売上原価に移行したことにより、売上総利益率が低下（約1.6ポイントの影響）。
- ・この結果、売上総利益は**271百万円**（前年同期比+6%）。
- ・販管費は、事業体制の変更に伴う販管費人件費分の減少（売上原価への以降）、支払手数料の最適化等により前年同期比△12百万円の減少となり、営業利益は**89百万円**（前年同期比+35%、達成率174%）。

（単位：百万円）

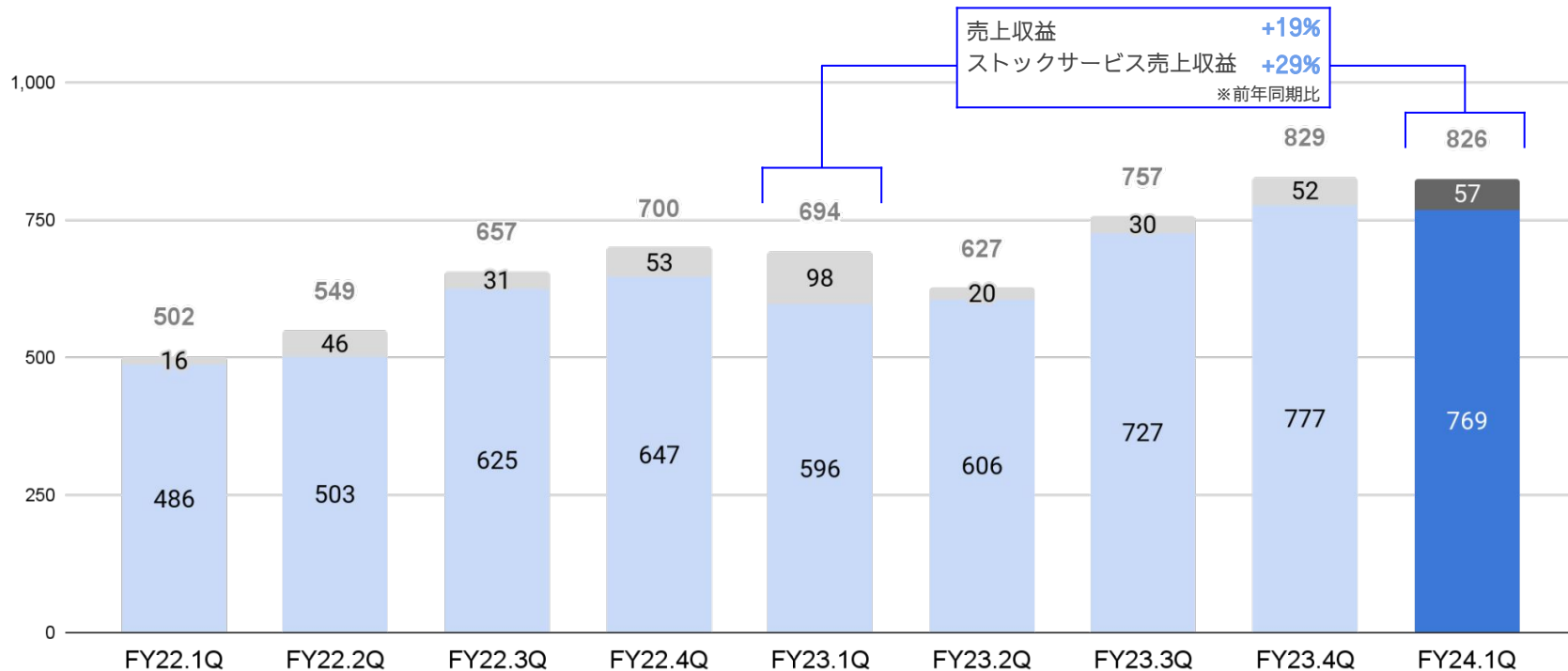
	2023年9月期 第1四半期		2024年9月期 第1四半期		前年同期比	第1四半期 業績予想（計画）		通期 業績予想	
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率		金額	達成率	金額	進捗率
売上収益	694	-	826	-	+19%	797	104%	3,306	25%
売上総利益	256	37%	271	33%	+6%	274	99%	1,172	23%
営業利益	66	9%	89	11%	+35%	51	174%	331	27%
税引前利益	39	6%	77	9%	+97%	28	279%	264	29%
当期利益	37	5%	67	8%	+81%	20	335%	213	32%



四半期毎の推移：売上収益

- ・ストックサービス売上収益は、前年同期比で**+29%**の成長。
- ・前年同期からストックサービスの件数が大きく向上（55件→66件）。
- ・前期4月に子会社化したハイブリッドテックエージェント社は、当第1四半期に売上収益を**52百万円**計上。
- ・売上収益の第1四半期計画797百万円に対しては、**+29百万円（達成率104%）**の進捗。

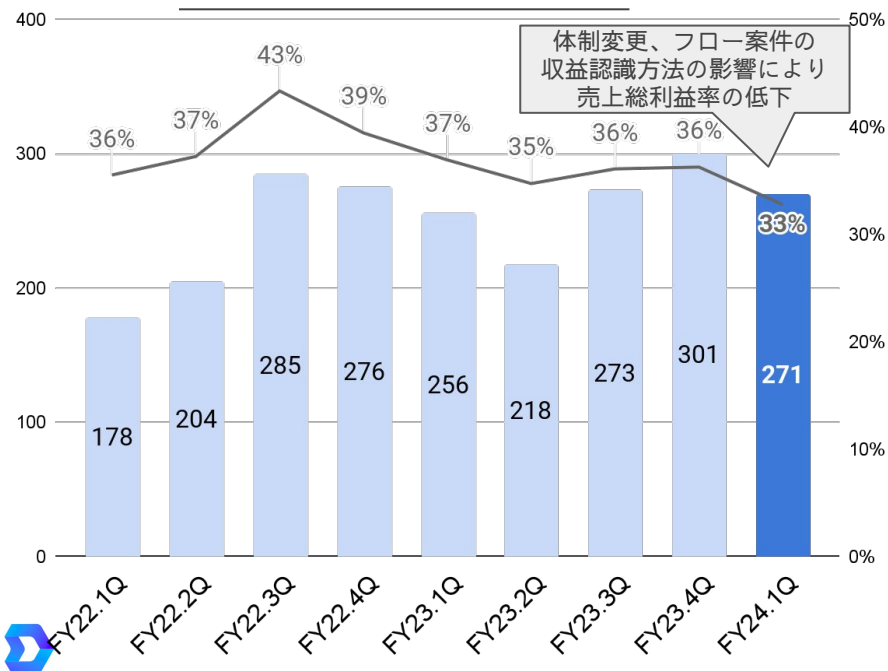
(単位：百万円)



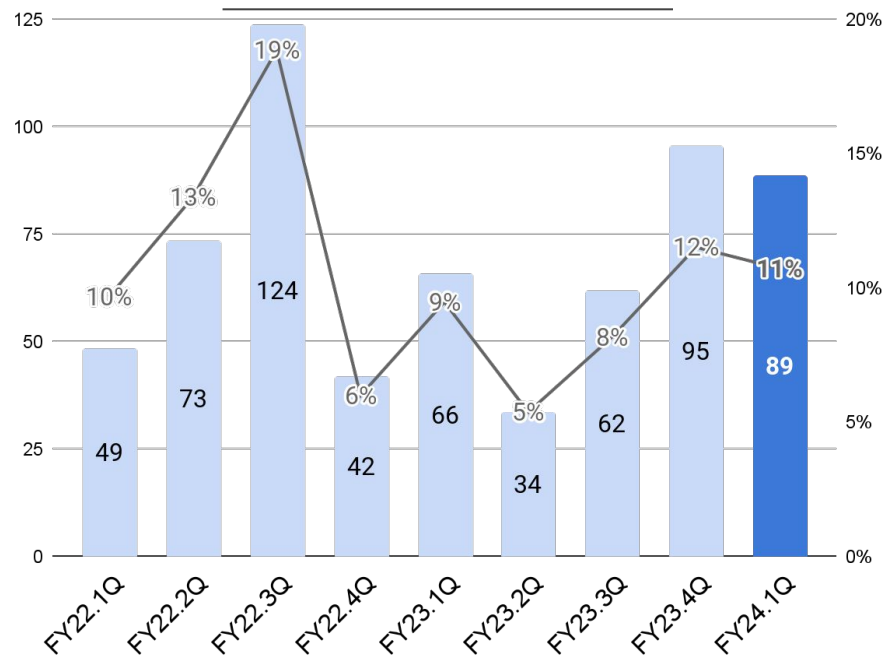
- ・当期首から実施している開発体制や品質管理体制の強化を目的とした事業体制の変更に伴い、前期まで販管費に計上されていた人件費の一部を売上原価に移行したことにより、売上総利益率が低下（約1.6ポイントの影響）。
- ・フロー案件の収益認識についてプロジェクト進捗が50%未満の案件は保守的に発生原価＝売上収益としていることによる売上総利益率の低下（約1.1ポイントの影響）。
- ・新体制の構築に向けた採用活動費用や人件費の計上等をし、営業利益率はほぼ横這い。

(単位：百万円)

売上総利益の推移



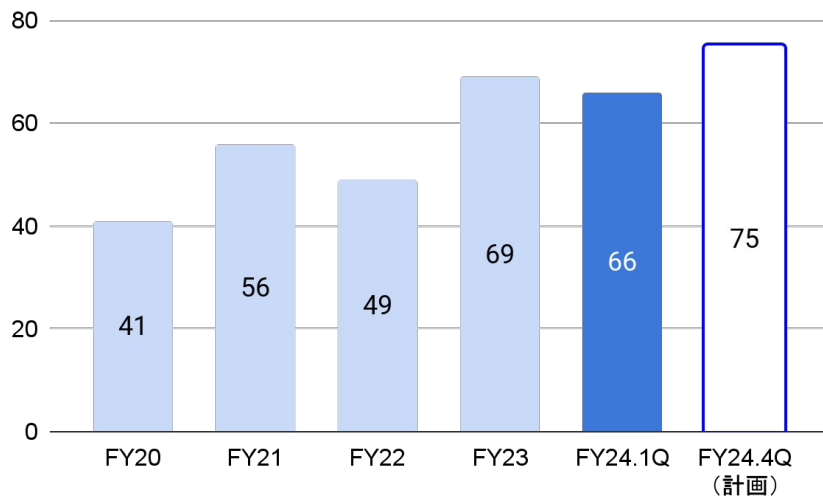
営業利益の推移



- ・ストックサービス件数は、期首から見込んでいた案件終了により、**66件**。
- ・ストックサービス単価は、新規案件の立ち上がりと11月に既存案件の終了が重なり、**3,421千円**と微減。

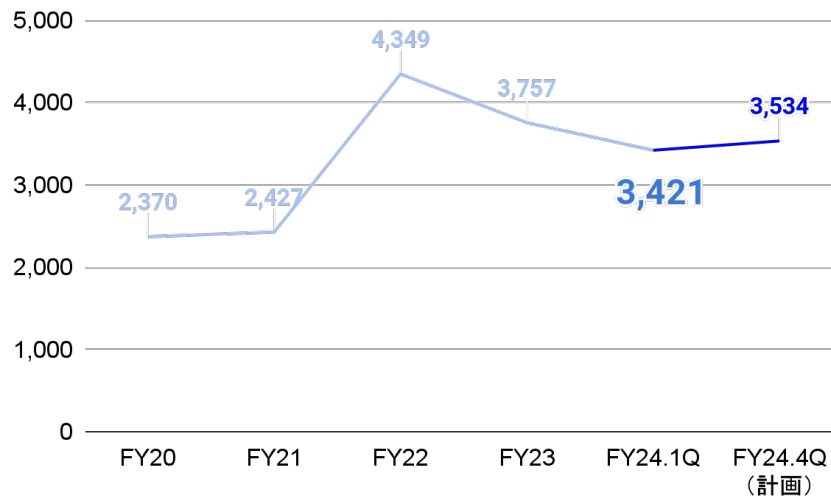
ストックサービス件数の推移

(単位：件)



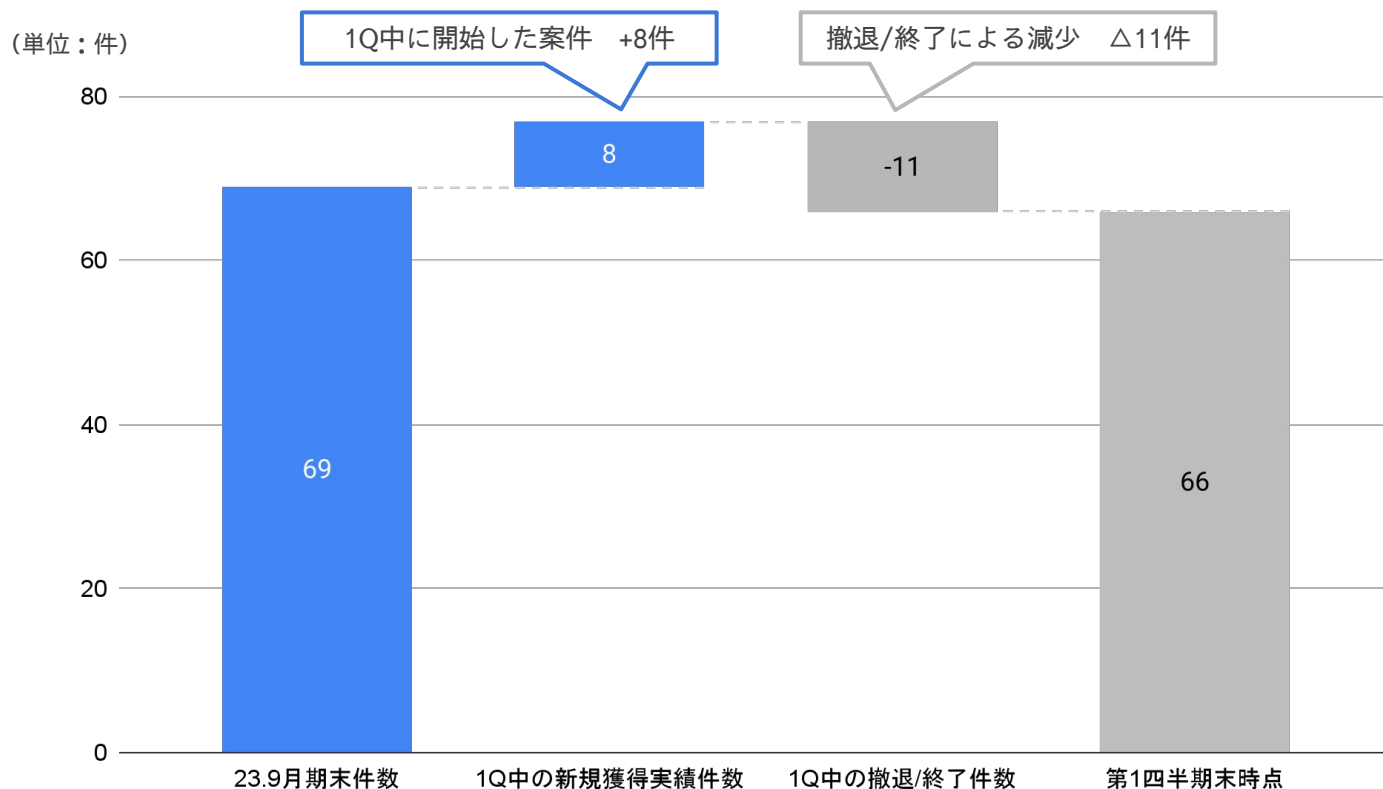
ストックサービス単価の推移

(単位：千円)



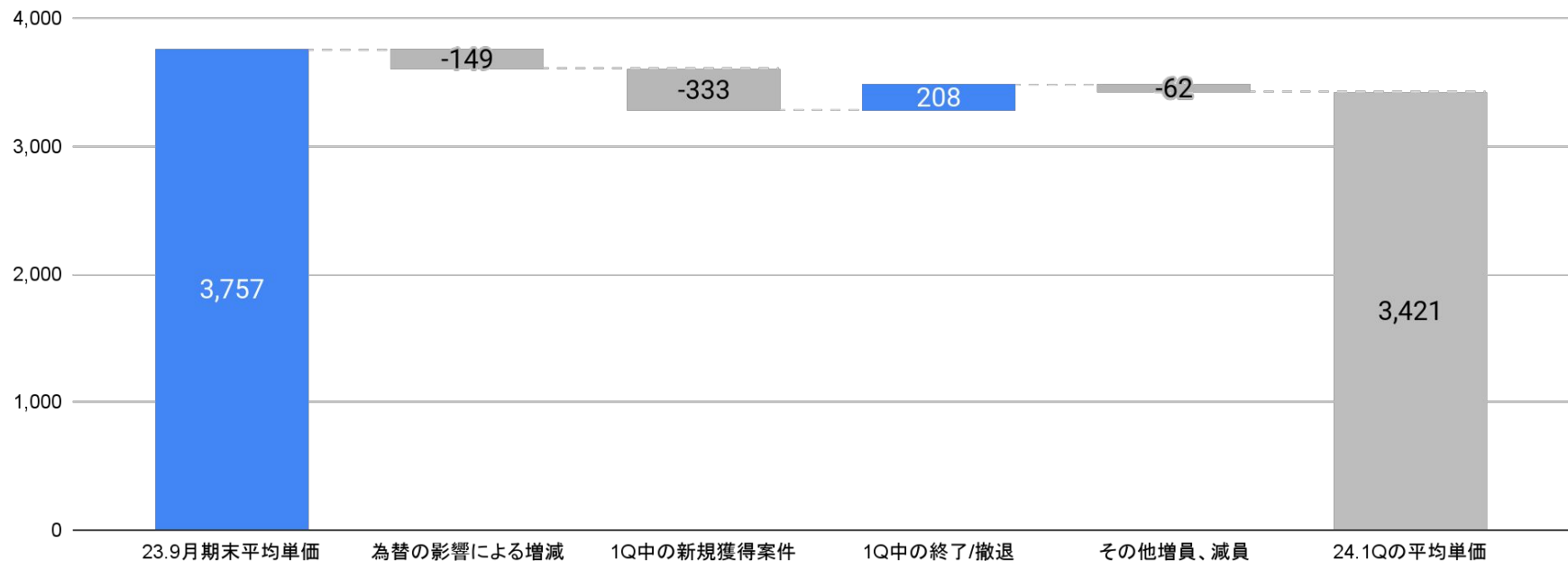
※ストックサービス件数... 四半期末（年度末）時点で、6ヶ月以上の契約を締結している長期ストックサービス案件の数

- ・第1四半期中に開始した新規ストックサービスは8件。
- ・第1四半期中に終了した案件11件により、第1四半期末時点のストックサービス件数は66件。



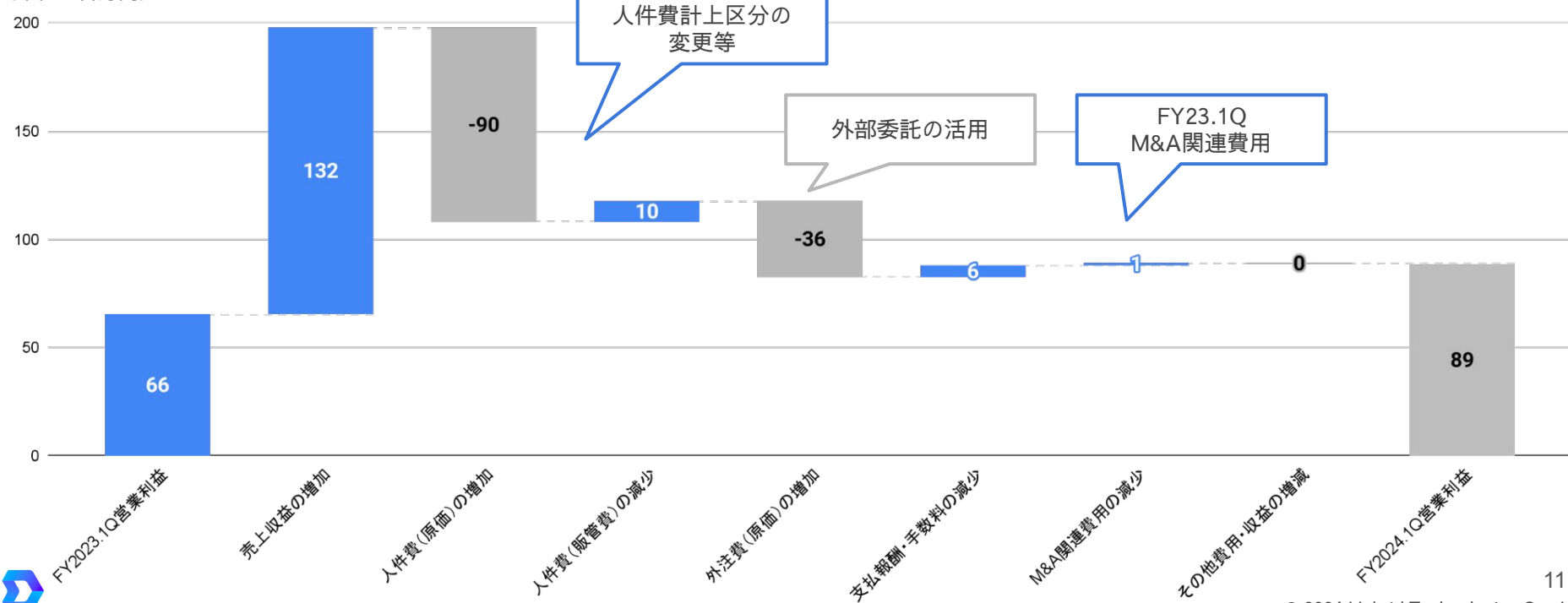
- ・第1四半期末時点の為替レートが円高に進行したことにより、日本円ベースの平均単価が約149千円減少。
- ・新規案件が第1四半期中に小規模に立ち上がったことにより、平均単価を約333千円引き下げ。新規案件については第2四半期以降の開発体制拡大により平均単価の向上を目指す。
- ・第1四半期中における終了/撤退に伴い、平均単価を約208千円引き上げた。

(単位：千円)



- ・当期首から実施している開発体制や品質管理体制の強化を目的とした事業体制の変更に伴い、前期まで販管費に計上されていた人件費の一部を売上原価に移行したことにより、人件費（原価）は増加、一方で人件費（販管費）は減少となった。
- ・待機人材の管理を目的とした計画的な外部委託の活用により、外注費（原価）が増加。
- ・前期第1四半期に計上されていたM&A関連費用が今期は発生しなかった他、手数料等の最適化により、その他費用を削減。

(単位：百万円)



- ・売上収益の拡大には、新規案件の獲得、開発の品質向上による案件規模の拡大及び既存顧客の撤退防止が重要。
- ・2024年9月期は、各部の役割を明確にし、実行しやすい体制とするため、以下の組織変更を行った。
- ・この結果、前期までは販管費に計上されていた人件費の一部が、売上原価に移行し、今四半期より原価率が増加（1.6ポイントの影響）。

2023年9月期までの組織

ビジネスコンサルティング部
エクスペリエンスデザイン部
・UI/UXデザイン、上流工程の提案 ・プロジェクトマネージャーとしての案件管理

デリバリー本部
・ベトナム子会社と連携した見積作成と案件管理

営業部
・新規顧客の開拓 ・新規案件への提案 ・顧客とのコミュニケーション



2024年9月期の新組織

事業創造本部
・顧客サービスの新規立ち上げから、サービス拡充を含めた新規案件の受注に注力。

開発本部
・提案や見積、案件管理、顧客満足度向上に注力。 ・一元的に見積を管理し、見積精度、受注率を向上させる。 ・開発した案件の品質管理を日本、ベトナムの二重体制に強化。 ・ハイブリッドテックエージェントからのサービス提供を含めた共同提案。

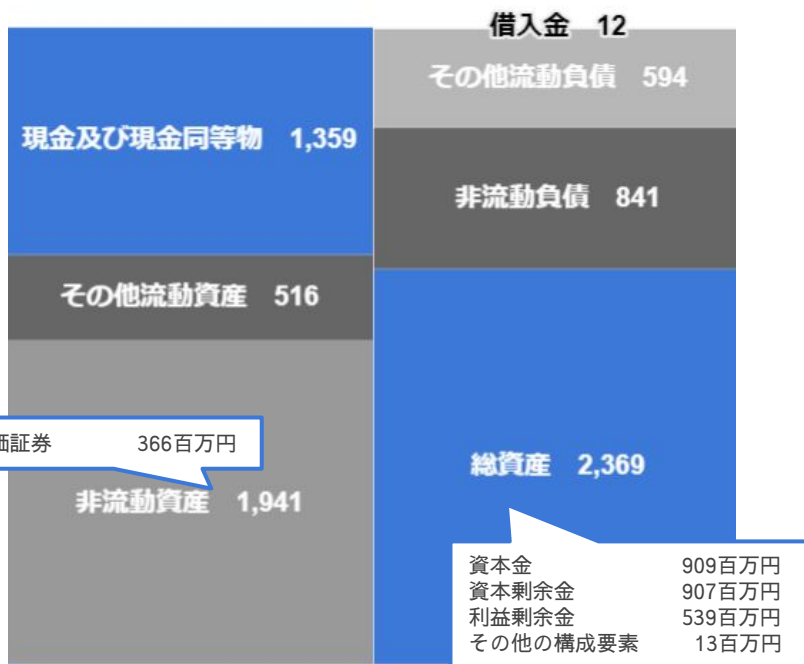
営業部
・顧客とのコミュニケーションに特化。



- ・自己資本比率は**62.1%**（前期末時点では**60.6%**）。
- ・Hybrid Technologies Capitalで取得した投資有価証券は**21案件**、**366百万円**。
- ・現金及び現金同等物は**1,359百万円**であり、今後の事業成長の好機に対する投資資金を十分に備える。

B/S

(単位：百万円)



C/F

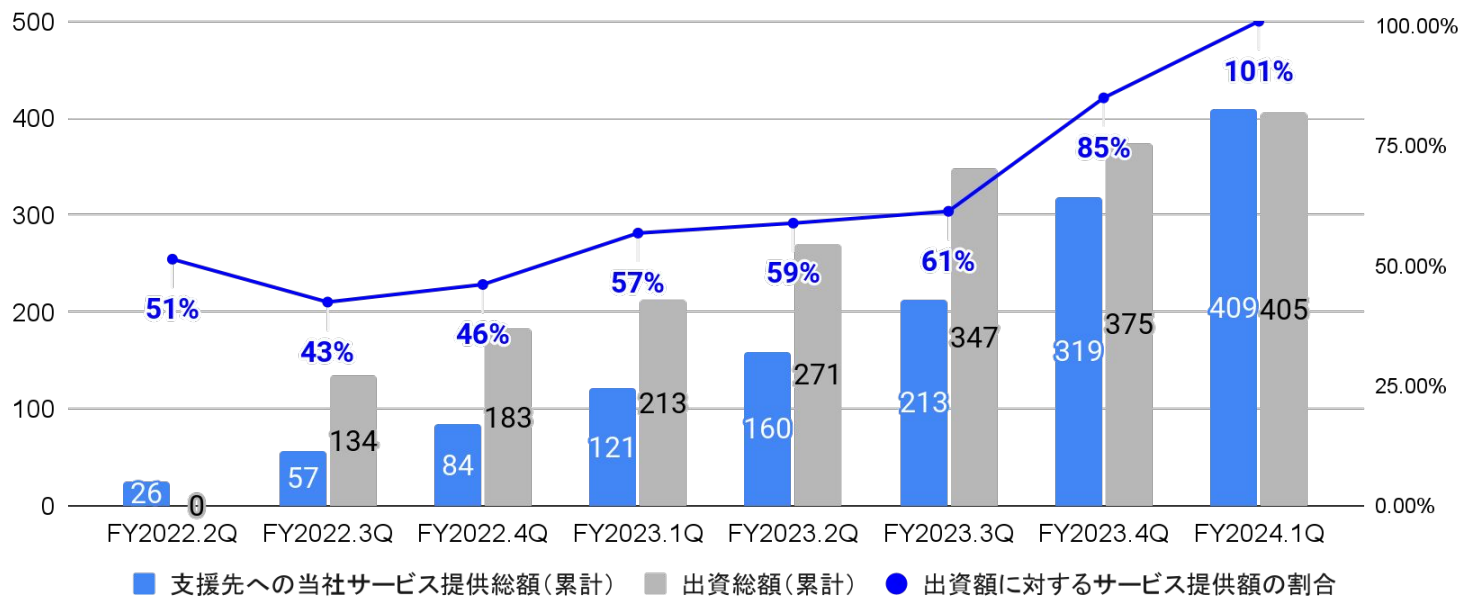
(単位：百万円)

営業活動CF	142
投資活動CF	△35
財務活動CF	△29
現金及び現金同等物の増減額	78
現金及び現金同等物の期首残高	1,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359

投資有価証券の取得 △30百万円

- ・今四半期に新しくコクー株式会社等への出資を行い、「Hybrid Technologies Capital」による出資件数は**累計21案件**。
- ・今四半期末時点で、出資先に対し提供したハイブリッド型サービスは**累計409百万円**となり、出資総額を上回った。
- ・今後も出資先とのパートナーシップの強化を通じて、持続的に取引拡大を目指す。

(単位：百万円)



Hybrid Technologies Capital出資件数

21案件

出資総額(累計)

405百万円

支援先への当社サービス提供総額(累計)

409百万円

業界、業種を限定せず、それぞれの市場で独自の強みを持つ企業に出資し、幅広いパートナーシップを構築。

AI

エンタメ・レジャー

EC・物流

医療

DXコンサルティング

IoT

教育

こども運動教室
Try, Fun and Growth

リユース

人材



2024年9月期第1四半期の業績

第1四半期のトピックス

成長戦略

会社・事業の概要



- ・ 2024年度の情報発信の取り組みとして、noteとX(旧twitter)のアカウントを開設。
- ・ IRをはじめとした各種リリースや、採用情報、当社の事業活動紹介など、幅広いテーマを発信予定。
- ・ noteではメディアプラットフォームを提供するnote株式会社が中心となって運営するIR noteマガジンに参画。

当社公式SNSを開設 ～より幅広く当社事業情報を発信～



当社 note アカウント

https://note.com/hybrid_tech_ir/



当社 X アカウント

<https://twitter.com/technolog24928>

- ・ 前期に子会社化したハイブリッドテックエージェンツ社の事業拡大を見据えて、採用活動の強化を継続。
- ・ 2024年1月に出展したオンラインイベントでは50名以上の参加者と面談を実施。

エンジニア体制強化のため、ハイブリッドテックエージェンツ社がエンジニア転職イベントに参加 ～事業拡大に対応する日本人PM、エンジニア人材を積極採用中～

Hybrid Technologies

500名のグローバルエンジニア組織。直取引90%上流のみ。リモートOK。
上場後の組織拡大フェーズを体験できます。

プロジェクトマネージャー(経験/未経験)
エンジニアから上流工程にチャレンジできます。

アカウントマネージャー
上場後、組織拡大中のマネジメントを経験、チームビルディングに携われます。若手指導にもチャレンジOK。数量が大きい、幹部候補も募集しています。

Salesforce (経験/未経験)
Salesforce 担当のコアメンバーとして活躍。Salesforce 事業を牽引します。アカウントマネージャーによる二人三脚のサポート体制も有ります。

Webエンジニア(経験/未経験)
未経験エンジニアOK！チーム開発やモダンな技術開発、プライム案件に関われます。

一気通貫の開発体制でDX推進をサポート

コンサルテーション
要件定義・仕様設計
UI/UX-デザイン
各種開発
運用・保守

Hybrid Tech Agent

超上流レイヤーの国内大手システムダイナミックな業務にチャレンジできます。

日本の交通物流を支えるプロジェクトチーム

エンジニア歴10年以上、技術力・マネジメント力の高いメンバーが多数所属。

プロジェクトマネージャー
日本の交通、物流を支えるためのプロジェクトチーム、システム開発の最上流で信頼関係を築き、高度な長期開発をマネジメントするダイナミックな業務です。

Webシステムエンジニア(Java)
大規模インフラや、最新技術などに携われるJava エンジニア。経験が強い場合も、社内メンバーが PL としてサポート、プレイングマネージャーにも挑戦できます。

インフラエンジニア
社内で補働する業務系、情報系、基幹システム等のサーバーおよびネットワークインフラリプレイスや新規構築業務

サーバーエンジニア
ActiveDirectory 構築やファイルサーバー構築の要件定義から基本設計、詳細設計、運用設計、構築・テスト、データ移行を行う案件

ITコンサルタント
上流工程から構築、導入後の利活用アドバイスまで一貫して携わることができます。

Hybrid Group

超上流で取り組む国内大手システム/インフラ・サーバ構築業務

プロフェクショナルマネージャー/エンジニア

ダイバーシティのある環境で働きませんか？

グローバル開発と多様なメンバー

変化を楽しむ

カジュアル面談 男性長期有休取得可能 ハイブリッドワーク 上流工程

福利厚生

リモートワーク	インフルエンザ予防接種
給与改定 年1回	慶弔休暇、慶弔会
社員旅行 年1回	オンライン研修
健康診断 年1回	フリードリンク(コーヒー、ウォーターサーバー)

社内制度

表彰制度	賞状・賞状に賞状を贈る制度
部活動制度	社員高次の交流促進
ベトナム人への転籍制度	ベトナム人への転籍も可能

採用応募のお問合せ

株式会社ハイブリッドテックエージェンツ
株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-13-2
MAIL: hr_recruit@hybrid-technologies.jp
URL: <https://agent.hybrid-technologies.jp>

私たちのビジョン

New View With You

一緒に成長している仲間を募集しています！
プロダクト開発ノウハウ290以上

カジュアル面談を随時実施しています。
まずはお気軽にお問い合わせください。

▲イベント当日のフリーペーパー

ベトナム子会社視察ツアーの実施

- ・新型コロナウイルス感染症による海外への渡航規制の緩和により、2023年10月に実施したCirclace HT Co., Ltd.視察に始まり、2024年1月末までに実施した視察ツアーに累計10社以上を招待。
- ・ベトナムの熱量を実感して頂くと共に、当社の開発メンバーとの交流を通じて、当社サービスイメージの具体化、顧客リレーションの強化、受注率向上を図る。参加企業からの受注実績も現れており、今後も積極的に実施予定。
- ・2024年4月にはダナン拠点ツアーを開催予定。

当社ベトナム拠点視察ツアーに10社以上※を招待



Hybrid Technologies

ベトナム・ハノイ

HANOI

視察ツアーのご案内

1月14日(日) → 17日(水)

ホテル 2泊 (14日, 15日) | 機中 1泊 (16日) 予定

ベトナム・ハノイへの視察ツアーを企画致しました。オフィス見学および現地メンバーや企業との意見交換会を予定しております。

ベトナムは国家戦略として、「2025年までの国家デジタルトランスフォーメーション (DX) プログラム及び2030年までの方針」を政策決定し、2030年までに高度なデジタル国家になることを宣言しています。

ITに一番ホットなベトナムの勢い、実情を肌で感じて頂ける絶好の機会となるかと存じます。是非ご参加下さいませ！

HTハノイオフィス



Hybrid Technologies

ベトナム・ダナン

DA NANG

視察ツアーのご案内

4月21日(日) → 24日(水)

ホテル 2泊 (21日, 22日) | 機中 1泊 (23日) 予定

ベトナム・ダナンへの視察ツアーを企画致しました。オフィス見学および現地メンバーや企業との意見交換会を予定しております。

ベトナムは国家戦略として、「2025年までの国家デジタルトランスフォーメーション (DX) プログラム及び2030年までの方針」を政策決定し、2030年までに高度なデジタル国家になることを宣言しています。

ITに一番ホットなベトナムの勢い、実情を肌で感じて頂ける絶好の機会となるかと存じます。是非ご参加下さいませ！

ツアースケジュール

21日(日) 成田空港発 (午前・予定) | [詳細を見る](#)

22日(月) 1日ダナンオフィス視察
現地企業視察/現地企業意見交換会等 (調整中) | [詳細を見る](#)

23日(火) 自由行動 ※ご希望を限り、オプションでオプションも開催いたします。
昼食後
夕食懇親会
夜路チェックイン | [詳細を見る](#)

24日(水) ベトナム・ダナン発 (夜後・予定) | [詳細を見る](#)

※本ツアーは、企業ご要望に応じて2泊3日でも開催いたします。

✓ お申込み締切: 2024年3月15日まで
✓ 参加費(機中): 総額200,000円 (オプション・ゴルフ参加: +約15,000円)
✓ 利用航空会社: 調整中
✓ 宿舎予定ホテル: 調整中

株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-6262-0801 FAX: 03-6262-0802
E-MAIL: sales@hitec.co.jp
hybridtech@hitec.co.jp

※顧客毎の要望で実施している個別視察を除く

日本ライフレイ株式会社との業務提携

- ・ポータルサイト構築において海外市場を中心に幅広いシェアを持つ日本ライフレイ株式会社とパートナー契約を締結。
- ・顧客毎に機能やデザイン等を最適化できる「Liferay DXP」の国内展開と、導入・活用支援による双方の事業成長を目指す。

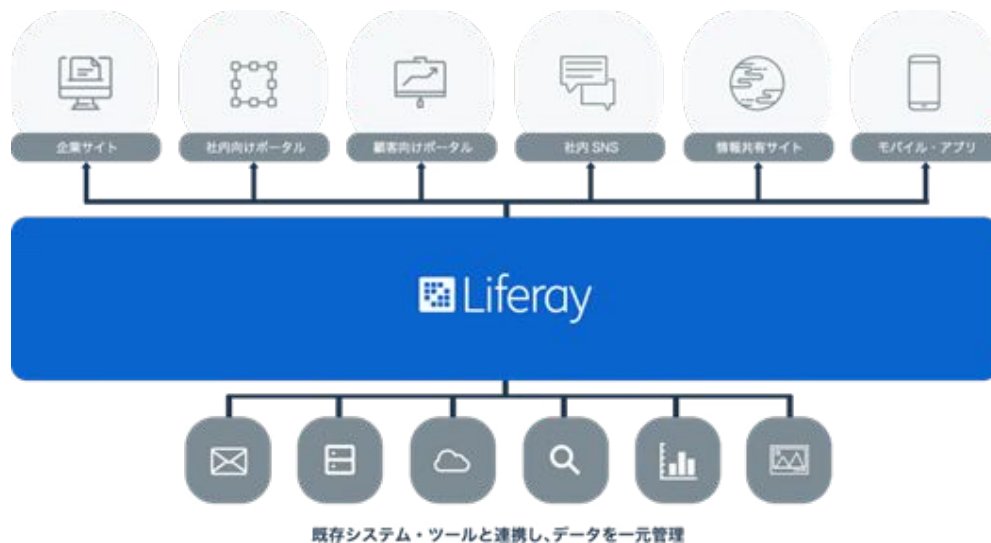
ポータルサイト構築市場で世界的に展開する日本ライフレイ株式会社とパートナーシップを締結

～70カ国・2,500社以上の導入実績を持つソリューションの国内展開と導入を支援～

 Liferay®



 Hybrid
Technologies



2024年9月期第1四半期の業績

第1四半期のトピックス

成長戦略

会社・事業の概要



・ストックサービス件数の増加、ストックサービス単価の向上により既存事業を拡大しつつ、新プロジェクトや業務提携等の非連続的な事業成長を目指す。

既存事業の成長

ストックサービス件数の拡大
ストックサービス単価の向上

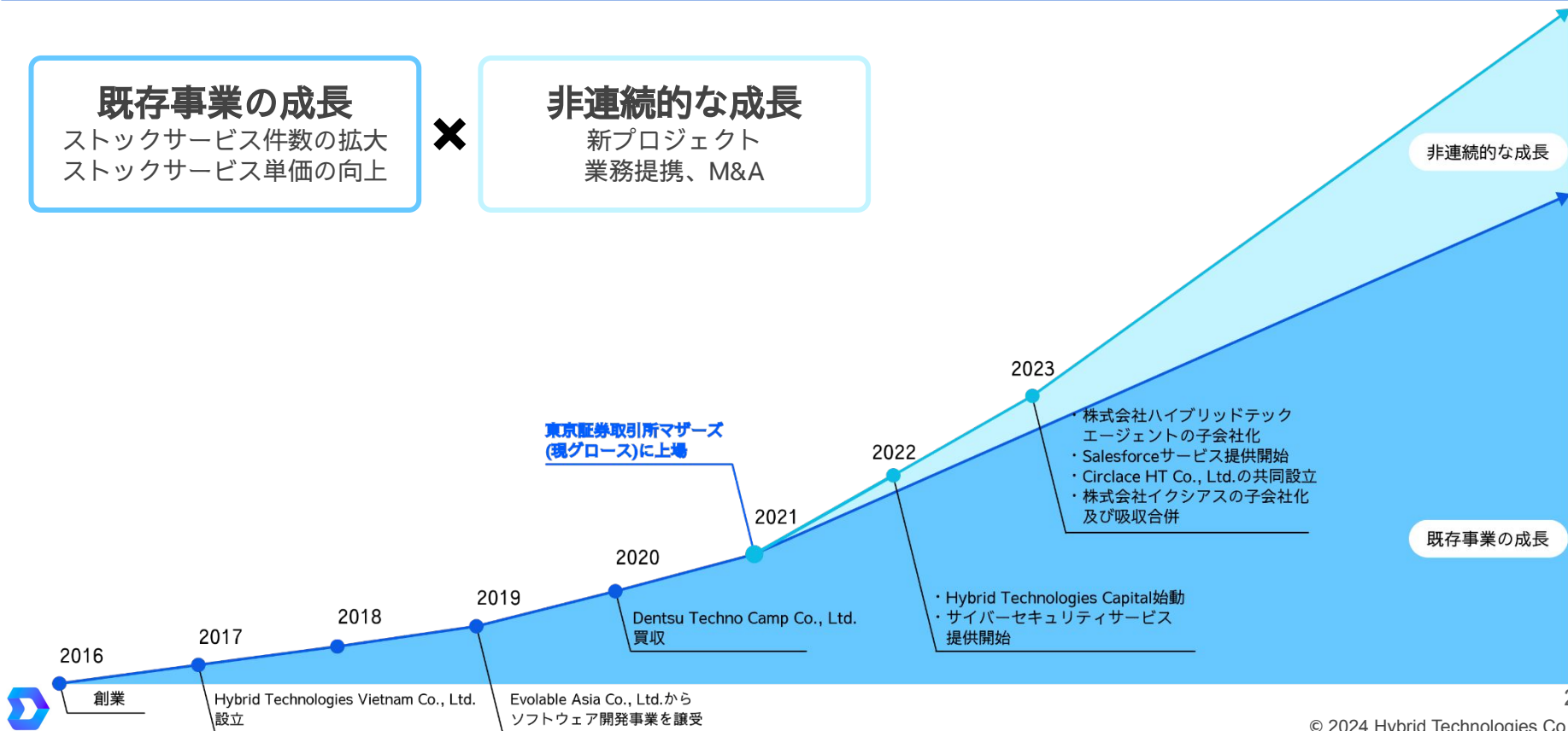


非連続的な成長

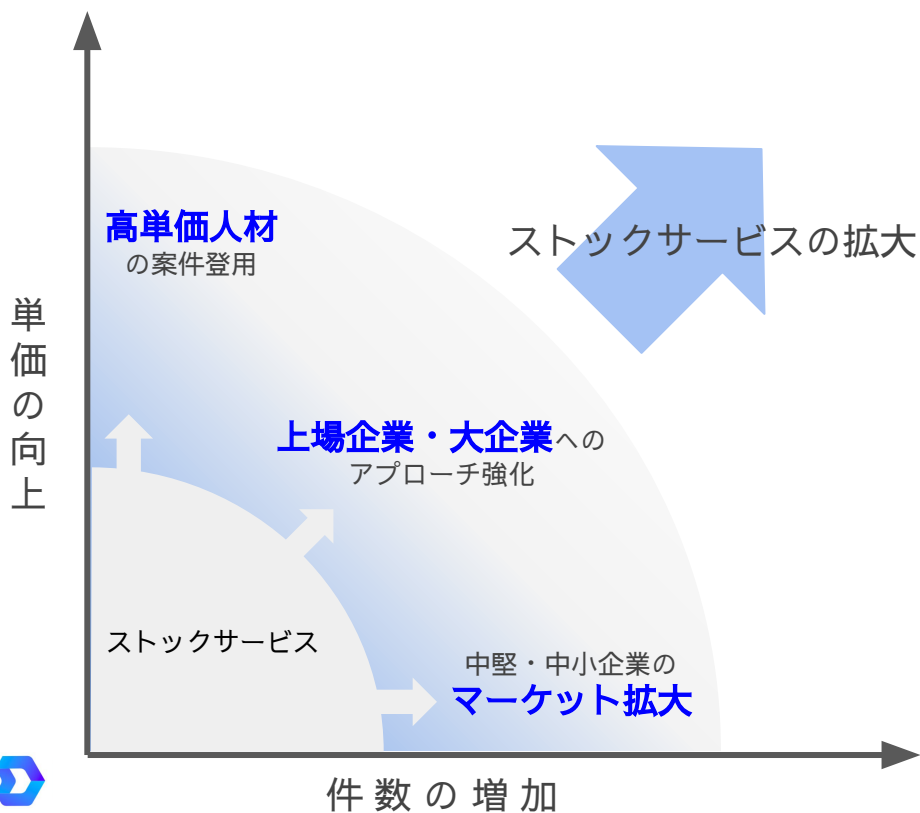
新プロジェクト
業務提携、M&A

非連続的な成長

既存事業の成長



- ・当社グループの成長の軸は、当社の主要サービスであるストックサービスの件数増加と単価向上による売上収益の拡大。
- ・衣笠CTOが主導するミッションを明確にした新たな事業体制、Salesforceソリューションに特化したベトナム合弁会社等の施策を中心に、件数と単価両面の成長を目指す。



ストックサービス 件数の増加

事業体制の変更による提案力の強化

営業顧問の活用による大手顧客の開拓

ベトナム合弁会社Circlace HT Co., Ltd.
を活用したSalesforce案件の獲得

ハイブリッドテックエージェント社とのクロスセル

柔軟な価格施策

ストックサービス 単価の向上

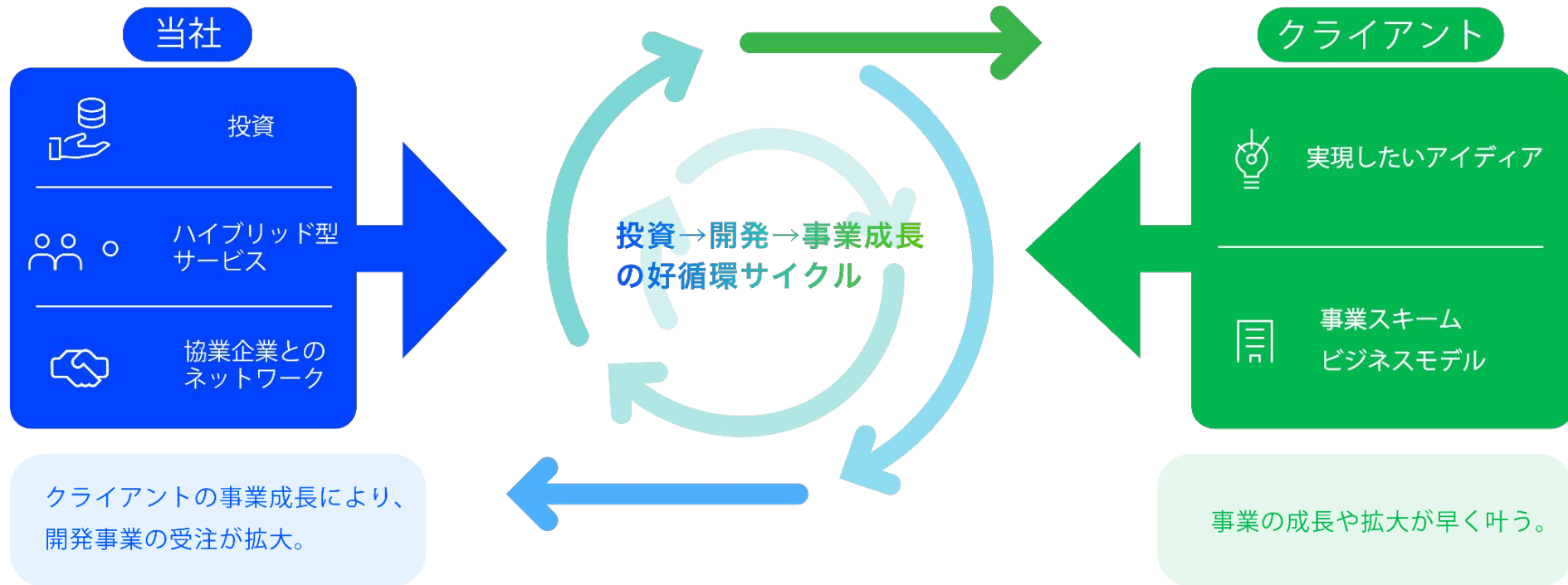
事業体制の変更による開発体制の安定化、品質管理体制の強化

対応領域の拡大、強化

収益構造の多様化

ベトナム合弁会社による強化

- ・2022年9月期から始動したスタートアップ事業支援プロジェクト「Hybrid Technologies Capital」は継続。
- ・スタートアップ支援を通じた顧客の事業拡大と、ハイブリッド型サービスの受注拡大の循環を狙う。



シードからレイターまでの全ての投資フェーズを対象として、事業成長シナジーが見込まれる幅広いパートナーを支援。

- ・ 様々な需要に適したハイスキル人材派遣を主とするコクー株式会社への出資を実施。
- ・ 同社が提供するRPAツール「マクロマン」のエンハンス、追加開発を支援。

COCOO

- ・ RPAツール「マクロマン」の開発、提供



Hybrid
Technologies

- ・ ハイブリッド型サービスの受注

「人財」×「デジタル」事業を展開するコクー株式会社のRPAソリューション
「マクロマン」「RPA女子」

RPAツール「マクロマン」を無料で提供し、マクロマンのサポートやRPAのアウトソースを「RPA女子」が対応・支援します。

COCOO

完全無料RPAツール	RPAのサポートサービス
<p>MACRO MAN</p> <ul style="list-style-type: none">FREE インストール無料FREE 無料期限の縛り無しFREE 利用人数の制限なしFREE 機能の制限なし	<p>RPA 女子</p> <ul style="list-style-type: none">業務選定開発運用・保守研修内製化支援

より効果的な活用やRPAのアウトソースに

無料で利用できるため、企業だけでなく自治体を含む各団体、学生や個人事業主の方など幅広くご利用いただいています。

- ・ 既存事業の成長（単価上昇/件数増加）と事業の多角化の2つの方向性でM&A戦略を検討。

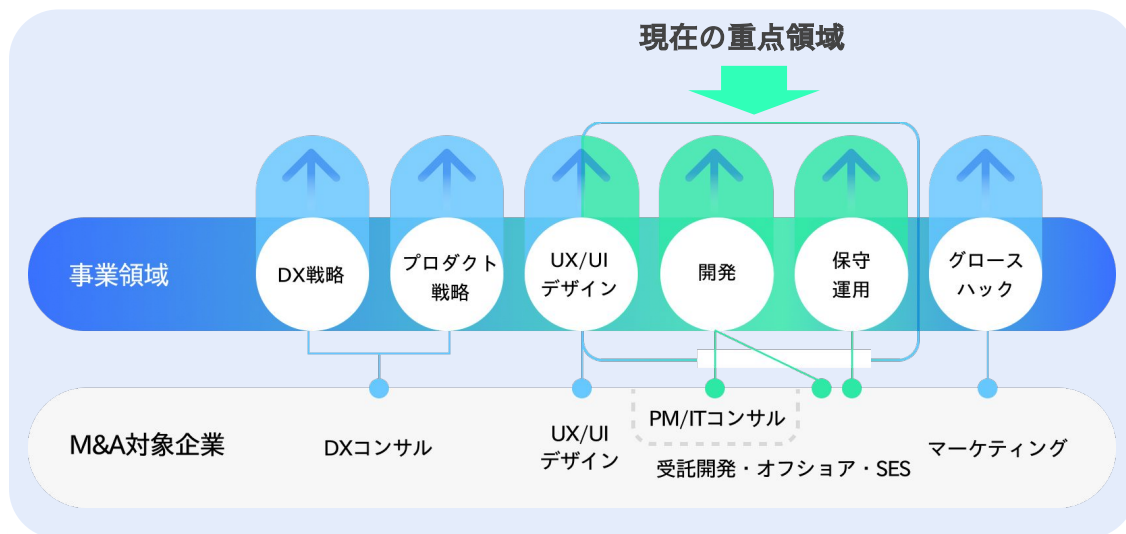
既存事業の単価上昇、件数増加を目的にしたM&A

事業の多角化を目的にしたM&A



- ・ 当社の現在の重点領域であるUX/UIデザイン・開発・保守運用領域の人員拡大、DX戦略コンサルティングやグロースハック領域等の、対応可能領域の拡大に資するM&Aを検討。
- ・ DX市場での更なる競争優位性を確立し、既存事業の拡大を目指す。
- ・ 2023年4月に株式会社ハイブリッドテックエージェント（旧社名：キャスレーコンサルティング株式会社）が、当社グループ化。
- ・ 2023年5月に株式会社イクシアス（2023年10月に当社に吸収合併）が、当社グループ化。同社代表取締役の衣笠が当社取締役CTOに就任。

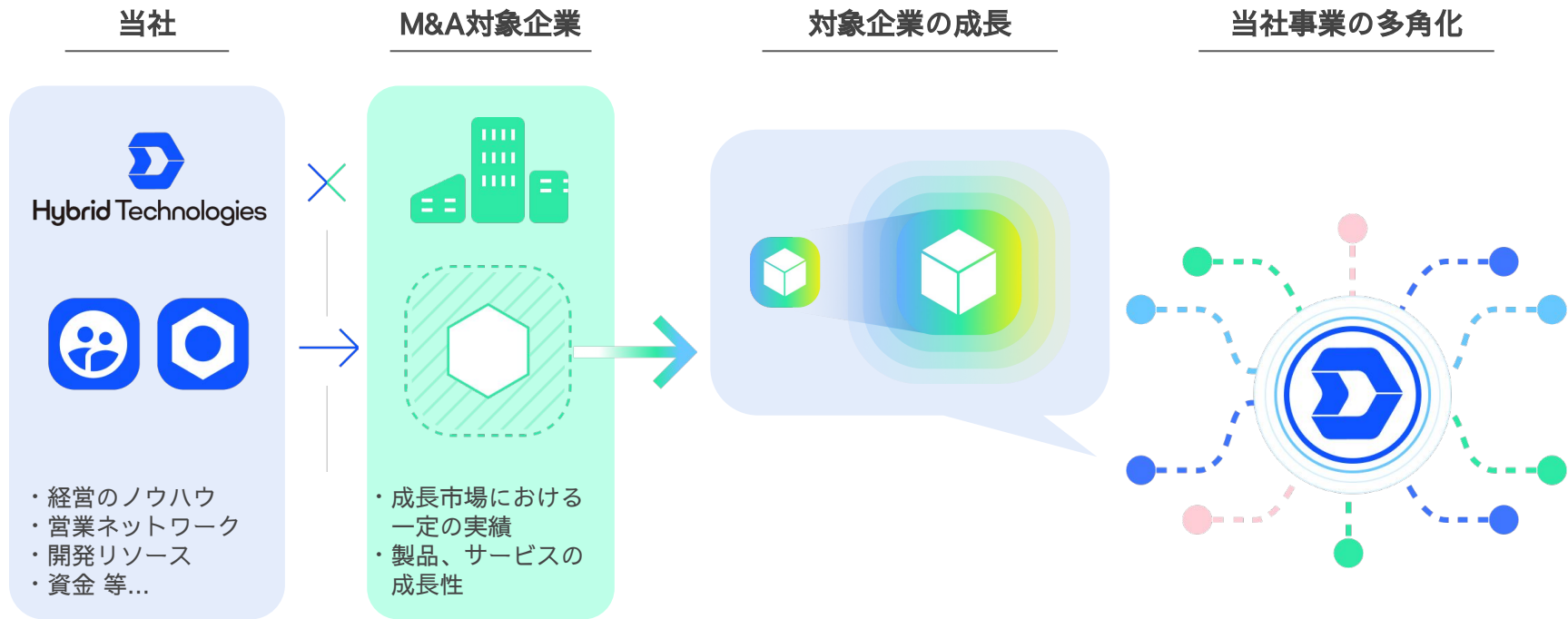
既存事業の開発領域



既存事業の拡大



・Hybrid Technologies Capitalでの企業接点を活かし、成長産業で一定のポジショニングを確立しており、当社アセット（経営ノウハウ・営業網・プロダクト開発・資金等）の活用で急成長を実現できる企業のM&Aを行い、事業の多角化による非連続な成長の実現を目指す。



・ 効率的な社会活動を実現するDX推進事業、多様な従業員の柔軟な勤務体制を通して、持続可能な社会の実現に貢献。

Environment	従業員が働きやすい環境づくり	快適なオフィス環境の整備、柔軟な就業時間の定義 中央区と中野区に2オフィスを設けることで、グループ従業員の就業場所の多角化。
	リモートワークの導入による公共交通機関の利用削減	リモート勤務体制の充実
	ペーパーレス	電子契約書締結システムの導入によるペーパーレス化の推進
Social	当社事業の進展による国内DXの推進	日本の「労働人口の減少」に起因する社会課題を解消する効率的な社会活動の実現
	当社グループ従業員のダイバーシティ	日本国籍 8% 、ベトナム国籍 91% 、その他 1%
Governance	情報セキュリティの強化	情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得 「ISMS (ISO/IEC27001) 」
		ソフトウェアテストの国際規格の認証取得 「ISTQB Platinum Partner」
	役員構成	常勤取締役4名を除く取締役2名及び監査役2名が社外役員

2024年9月期第1四半期の業績

第1四半期のトピックス

成長戦略

会社・事業の概要



- Vision

New view with you

- Mission

私たちは常に発展途上であり、顧客とともに成長し続けます。

- Business

顧客に適したデジタル技術を用いて、業務のみならず
ビジネス変革を提供することで、顧客の競争優位性を高め、
社会をよくするための事業の運営をしていきます。



会社概要

<p>社名</p> <hr/> <p>株式会社ハイブリッドテクノロジーズ</p> <p>〈主要連結子会社〉</p> <p>Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd. 株式会社ハイブリッドテックエージェント</p>	<p>設立年月日</p> <hr/> <p>2016年4月28日</p>	<p>役員 (2023年12月31日時点)</p> <hr/> <p>代表取締役社長CEO チャン バン ミン (TRAN VAN MINH)</p> <p>取締役CFO 平川 和真</p> <p>取締役COO 窪田 陽介</p> <p>取締役CTO 衣笠 嘉展</p> <p>社外取締役 森保 守</p> <p>社外取締役 本間 大地</p> <p>常勤監査役 下田 林也</p> <p>社外監査役 里見 剛</p> <p>社外監査役 山田 一雄</p> <p>執行役員 新井 康太</p> <p>執行役員 チャン タン ハイ (TRAN THANH HAI)</p> <p>執行役員 濱本 剛史</p>
<p>所在地</p> <hr/> <p>〈本社〉</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川2-22-1 いちご新川ビル5F</p> <p>〈中野オフィス〉</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町3-31-11 Daiwa中野坂上ビル6F</p> <p>〈ベトナム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホーチミンDOBオフィス 7F Dongnhan Office Building, 90 Nguyen Dinh Chieu Street, Dakao Ward, District 1, Ho Chi Minh City ・ハノイCPオフィス 12AF, Central Point, 219 Trung Kinh Street, Cau Giay District, Ha Noi ・ダナンVPオフィス 5F, Parkson, B2 Building, 255-257 Hung Vuong, Da Nang 	<p>資本金 (2023年12月31日時点)</p> <hr/> <p>909,229千円</p> <p>従業員数 (2023年12月31日時点)</p> <hr/> <p>571名</p> <p>※100%子会社従業員含む</p>	





代表取締役社長CEO
チャン バン ミン

日系企業ベトナム現地法人の代表、ベトナム情報通信大手の日本法人代表を経て、2016年に当社を創業。



取締役CFO
平川 和真

監査法人、マレーシア拠点のコンサルティング会社、Evolable Asia Co., Ltd. のCFOを経て、2018年に当社取締役CFOに就任。公認会計士。



取締役COO
窪田 陽介

2007年に新卒入社した株式会社リクルートにて営業マネージャー、事業推進、営業推進を担当。2019年に当社執行役員を経て、取締役COOに就任。



取締役CTO
衣笠 嘉展

2005年ヤフー株式会社に新卒で就職し、その後グリー株式会社にて新規事業の立ち上げや、大規模なインフラの設計/運用をリード。2015年に株式会社ネクストビートの執行役員CTO、2021年に株式会社イクシアスの代表取締役を経て、2023年5月当社の取締役CTOに就任。



営業部管掌 執行役員
新井 康太

2014年株式会社エアトリに新卒1期生として入社、1年半でマネージャーに昇格。課長職として東証一部市場変更を経験し、2019年に当社に転籍、執行役員に就任。



経営企画部管掌 執行役員
濱本 剛史

2012年株式会社マイナビに新卒入社し、営業や事業企画、グループ経営統括部にて海外スタートアップ投資やM&A等を担当。2022年に当社に入社、執行役員に就任。投資やM&A等を管掌。



開発本部管掌 執行役員
チャン タン ハイ

2004年に来日し、ソフトウェア開発に従事。株式会社EVA、株式会社ハイペリオンベトナムを経て、2020年に当社に入社、デリバリー本部（現開発本部）管掌執行役員に就任。

・ハイブリッド型サービスでは、日本側が中心となり顧客のサービス設計、システム設計の上流工程を担い、ベトナム側のエンジニアリソースと連携することで顧客サービスの「上流から下流工程に至る一連のサービス」を提供。



日本在住の、日本語とベトナム語が
堪能なバイリンガルBrSE

日本側とオフショア側のコミュニケーションを
サポート。単なる通訳ではなく、IT知識に長けた
SEとして橋渡しすることで、品質を保ちながら
スピード感ある開発を可能に。



サービス内容

・顧客ニーズに沿って、準委任契約のストックサービスと請負契約のフローサービスを提供。

サービス カテゴリー	ストックサービス	フローサービス
契約種別	準委任契約	請負契約
契約期間	原則1年(自動更新)	案件毎に変動
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 顧客専用の開発チームを提供するサービス 顧客の要件に応じたチームメンバーのスキル、人数を機動的に確保 1年契約の自動更新を原則として、要望に応じて3ヶ月程度まで契約期間を設定 契約が続く限り1件毎に毎月収益が発生するため、安定的な収益基盤を形成 	<ul style="list-style-type: none"> 既定の要件に則り開発を受託するサービス 実装後の保守、追加開発などの契約を、ストックサービス契約に誘導
売上高 構成比※	93%	7%

※ 2023年9月期の総売上収益のうち、ストックサービス、フローサービスそれぞれの売上収益が占める割合



・当社が考える当社事業の強みとしては以下の4点。詳細は、次ページ以降。

1. 日本とベトナムのシナジー

豊富な労働人口基盤を持ち、国がIT人材の輩出を推進するベトナムは、日本の労働人口、IT人材の不足を補うパートナーとしての高い適正を持つ。

ベトナム国内における当社の高い知名度を活かした採用ネットワークにより、日本国内では困難な、案件に応じた機動的な人材確保が可能。

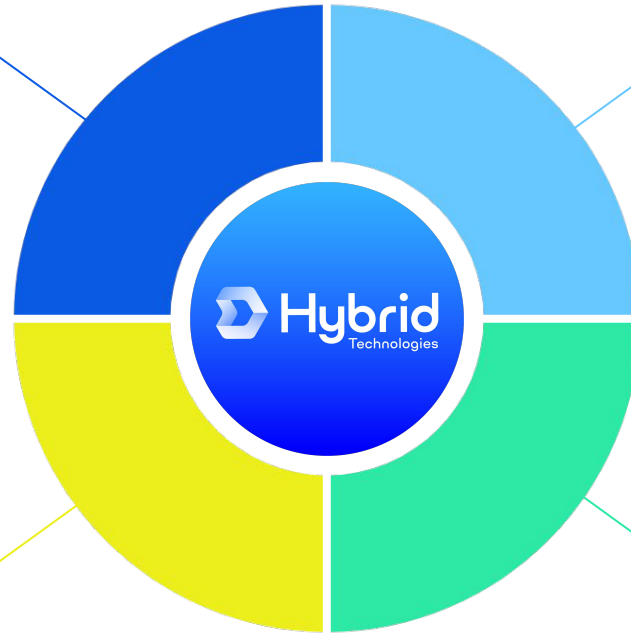
3. リソース供給力

2. ビジネスモデル

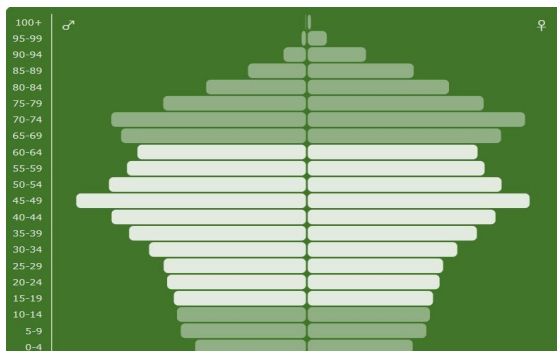
上流工程を担う日本と、開発実装を担うベトナムの間を、日本の商習慣を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、従来のオフショア開発のデメリットを最小限に抑え、上流から下流までの全ての開発工程を一気通貫で完結。

日越で開発部門を管掌する役員の下、国際規格に準拠した高品質な開発環境と、外部専門機関と連携したサイバーセキュリティ体制を構築。

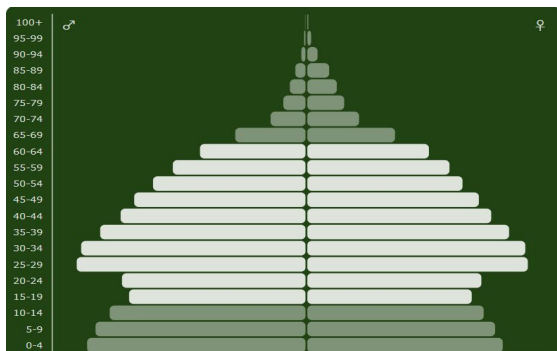
4. 高品質な開発



- ・2020年時点で、少子高齢化問題が顕在化している日本に対し、ベトナムの総人口は今後も増加見込。
- ・ベトナムは2035年頃に総人口、労働可能人口で日本を上回り、2050年に労働可能人口の差は1,500万人と推計されている。
- ・ベトナムの労働人口、連動して増加するIT人材は、日本の労働力不足、それに起因する社会問題のソリューションとなり得る。

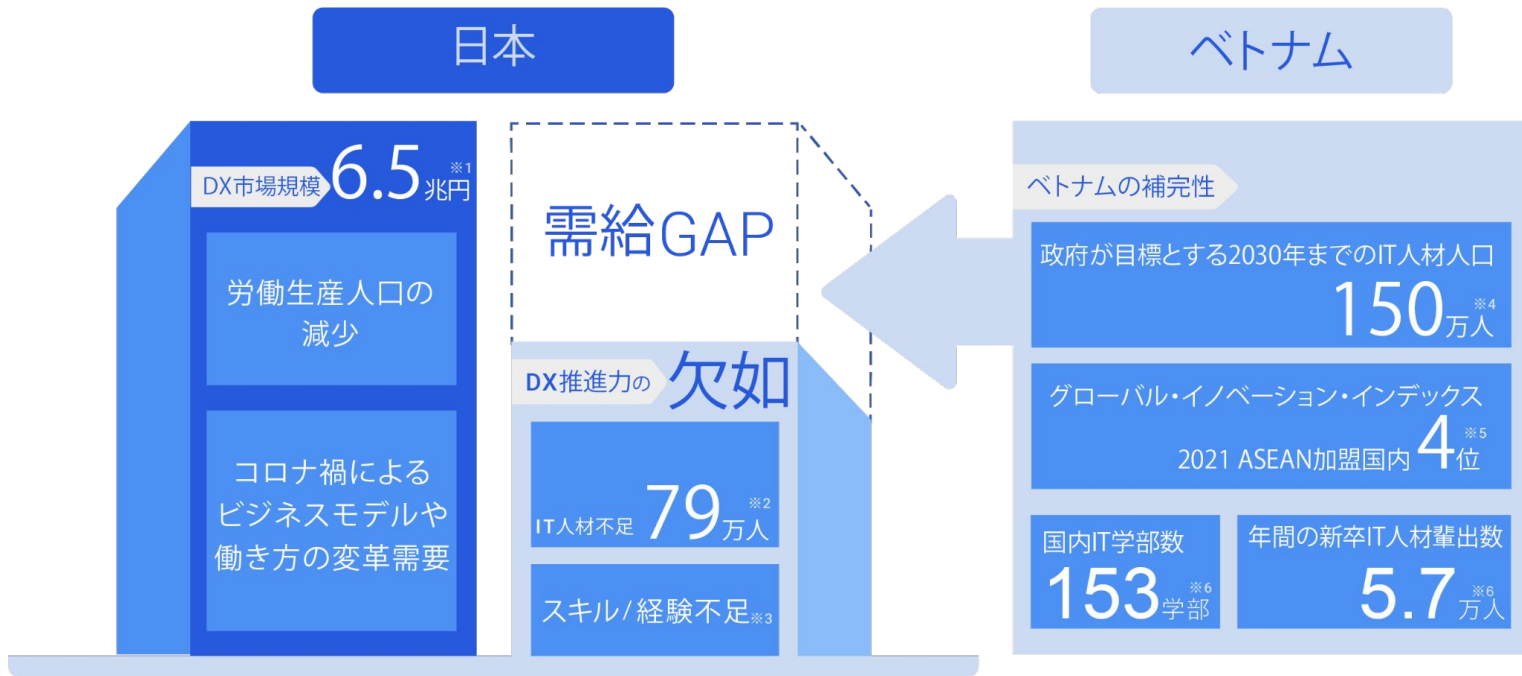


	2020年		2050年
総人口	12,648万人	-17% ↓	10,580万人
(労働可能人口※)	(7,482万人)	(-28% ↓)	(5,366万人)



	2020年		2050年
総人口	9,734万人	+13% ↑	10,961万人
(労働可能人口※)	(6,711万人)	(+2% ↑)	(6,836万人)

- ・日本企業のDX市場は、2030年には**6.5兆円規模**への成長が見込まれる一方、国内でDXを推進するリソースであるIT人材や、ノウハウは不足する見通し。
- ・ベトナムは国策に後押しされている豊富なIT人材と成長性を持つ。



出典：

- 富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編/ベンダー戦略編」
- 経済産業省委託によるみずほ総研の2019年3月調査報告書において、生産性の上昇率を最大の0.7%で試算した場合
- 独立行政法人情報処理推進機構社会基盤センター、IT人材白書2020（従業員300名以下の企業においては、約50%もの企業が自社内にITのスキルを蓄積、内製化する取り組みが進んでおらず、70%近くの企業はDXに取り組んでいない、分からないと回答した調査結果）
- LP(2020). Chiến lược quốc gia về phát triển doanh nghiệp công nghệ số Việt Nam. Hanoi: Socialist Republic of Viet Nam government News.
- WIPO (2021). Global Innovation Index 2021: Tracking Innovation through the COVID-19 Crisis. Geneva: World Intellectual Property Organization.
- TopDev(2020). Viet Nam IT Market Report Tech Hiring 2022. Ho Chi Minh City: TopDev.

当社事業の強み②：ビジネスモデル

・上流工程を担う日本と、開発実装を担うベトナムの間を、日本の商習慣と日本語を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、従来のオフショア開発のデメリットを最小限に抑え、上流から下流までの全ての開発工程を一気通貫で完結。



1

上流工程の コンサルティング

経験豊富な日本人のプロジェクトマネージャー/UXデザイナーが、サービスの構想・設計段階からのコンサルティング、マネジメントに対応。

2

母国語（ベトナム語）を用いた コミュニケーション

日本の商習慣を理解するベトナム人エンジニアが橋渡しをすることで、コミュニケーションロスを抑制し、高い品質を実現。

3

ベトナムの 豊富なIT人材

ベトナムは国策によってIT人材の輩出を促していることで、日本国内では難しい機動的かつコストメリットもあるIT人材の確保が可能。

- ・ベトナム国内における当社の高い知名度を活かした採用ネットワークにより、日本国内では困難な、案件に応じた機動的な人材確保が可能。
- ・当社設立以降の継続的なベトナムIT人材へのアプローチを通じて、開発経験者の候補者リストの規模は32,000人超に成長。

ベトナムにおける
新卒人材の候補リスト※

2,700人+

ベトナムにおける
開発経験者の候補リスト※

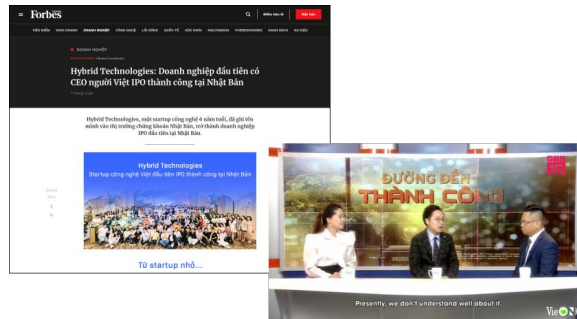
32,000人+

※過去当社へ応募頂いた開発候補者を応募のタイミングで当社のリクルートシステムに登録し、顧客の開発要件に最適な候補者にアプローチできる体制を構築。2023年9月期末時点での数字。



当社事業の強み③：リソース供給力

・当社代表のミンは東京証券取引所に上場する企業の唯一のベトナム人代表として、Forbesを始めとした様々なメディアに取り上げられ、ベトナム国内における高い注目度を有することで、優秀な人材が集まるネットワーク、仕組みを形成。



代表のミンがベトナム人だからこそ持つネットワーク

日本でのベトナム人コミュニティへの参加や、代表がベトナム人だからこそ持てる共感接点、キャリアパスの安心感からの採用優位性。

ベトナム人代表で唯一の東証上場企業としての高い注目度

ベトナム人が代表を務める企業でありながら東証に上場した成長力と発展性に、Forbesをはじめとした様々なメディアから注目を集める。

ベトナム3大都市での事業展開

ハノイ、ホーチミン、ダナンのベトナム大都市にオフィスを構えていることで、幅広く優秀なメンバーを採用できる事業展開力。

企業知名度と従業員満足度に基づくリファラル採用力

ベトナムに拠点を置く日系企業最高位の知名度や、従業員が自発的に当社を推薦する好循環な採用スキームの構築。

3大都市の有名大学9校との連携

ベトナム国家大学(ホーチミン校、ハノイ校) / ホーチミン市工科大学 / ホーチミン市自然科学大学 / VNU University of Engineering and Technology / ハノイ市工科大学 / ズイタン大学 / ダナン大学 / ハノイ国家大学・自然科学大学



- ・プロジェクトマネジメント、インフラ設計/運用の幅広い知見を有する取締役CTOの衣笠と、日本とベトナムを跨ぐソフトウェア開発業務に精通した執行役員のハイが開発現場を管掌。
- ・外部機関と連携したサイバーセキュリティ施策や、国際規格に準拠した開発サービスを提供。
- ・顧客の新規事業の立ち上がりからグロースまで高品質な提案、開発を実現。

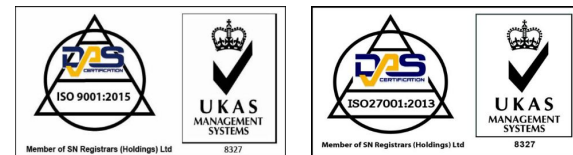
取締役CTO

衣笠 嘉展



執行役員

チャン タン ハイ



経験豊富なCTO、執行役員が管掌する提案、開発体制

新規事業の立ち上げからのプロジェクトマネジメント、インフラ設計/運用の知見を有する取締役CTO、日本とベトナムを跨ぐソフトウェア開発に長年従事した執行役員が、高品質な提案、開発を実現。

国家機関と連携したセキュリティ体制

2022年9月23日にベトナムの国家サイバーセキュリティセンターと連携し、ネットワークセキュリティ強化のための支援を拡大。

※NCSC (ベトナムの国家サイバーセキュリティセンター)

国際規格に準拠

情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、「ISMS (ISO/IEC27001)」、ソフトウェア・テストの国際規格「ISTQB Platinum Partner」認証を取得。



Hybrid

Technologies

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。